



2019年2月21日

## 武蔵野銀行との災害・障害時における日銀ネットの相互利用について

### ～「千葉・武蔵野アライアンス」提携施策～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）と武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）は、BCP（業務継続体制）の強化を図るため、2019年2月22日（金）より、災害・障害発生時に日本銀行金融ネットワークシステム<sup>※</sup>回線及び端末装置（以下「日銀ネット」）を相互利用していくことで合意しました。なお、異なる金融機関が日銀ネットを相互利用するのは国内初となります。

これまでは、両行とも自行のバックアップサイトを使用することとしていましたが、大規模な自然災害やシステム障害にも対応できるよう、今後は有事の際に、当行は埼玉県さいたま市にある武蔵野銀行の日銀ネットを、武蔵野銀行は東京都中央区にある当行の日銀ネットをそれぞれ利用できるようにすることで、金融・決済機能を維持してまいります。

両行は、今後も地域のお客さまの利便性向上や地域社会のさらなる発展のため、幅広く提携施策を検討し、スピード感をもって実行に移してまいります。

※日本銀行と民間金融機関をオンラインで結ぶ電子決済システムのことです。

以 上